

2020

コースガイド

洋画コース



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育部

洋画コースでは、一人一人の個性的な作品づくりのために、構想力と表現力を身につけ、「生涯いきいきと描きつづけられること」の素地づくりを教育目標としています。

1年次、2年次の専門教育科目はデッサンと油彩の基礎です。デッサンでは対象を描きながら、形、明暗、量感、空間、構図など造形に必要なさまざまなことについて学びます。油彩では油絵具で描く基礎を重ね、技法や色彩原理についても修得します。ここで大切なのは、絵を描く為に必要な見方や考え方は、手を動かし枚数を重ねるにつれて解ってくるということです。課題をこなすという意識ではなく積極的に取り組んでください。また、テキスト科目の提出作品が再提出になっても、再度チャレンジしてやろうという意欲を持って描いてください。それがテキスト科目をクリアしていくコツともいえます。研究室も最終締切りを考えて指導していきます。

3年次、4年次の専門教育科目では、個性的な表現を探り拓けていきます。それぞれ自分の想いはあっても、どう表現すれば良いかが問題になります。みなさんが提出してくださった課題作品を見ると、描写力の優れた人、色彩感覚の豊かな人、ユニークな発想の人、各々の学生の良さが見えてきます。その特性を個性的な表現に繋げるためには、自分の足元を掘り下げていくとともに、新しいことに挑戦する気概も必要でしょう。

また、提出される作品の中には、アイデアが先行し描き込み不足の作品も目にします。それぞれ事情があると思いますが、自分の造形を掴むためにはここで粘るガンバリが大切になります。

洋画コースのカリキュラムは、テキスト科目とスクーリング科目を連動させるシンプルな形を目指し、更に受講もしやすく工夫しています。通信教育部での学習は自宅学習が中心となります。一人で悩まずに質問票や対面相談の機会を活用し、意義のある学生生活を送るように心がけてください。

目次

1. [新入生のみなさんへ]学習をはじめるにあたって……………	2
2. [在校生のみなさんへ]2020年度からの変更事項と注意点……………	5
3. 学習を進めるにあたって……………	6
4. 専門教育科目一覧……………	7
5. 卒業制作着手要件・卒業要件……………	8
6. カリキュラムマップ……………	10
7. スクーリング日程・スクーリングコード一覧……………	12
8. 履修条件図……………	16
9. 履修モデル……………	17
10. 専門演習テキスト科目(TW・TX)……………	20
11. 専門演習スクーリング科目(S)……………	22

コースガイドを使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修プランをたて学習をすすめることが重要です。
入学許可後は、『学習ガイド』やシラバスを確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中で新規科目に取り組むことも可能です。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

1. [新入生のみなさんへ]学習をはじめるにあたって

1. ご挨拶

新入生の皆さま。洋画コースへご入学おめでとうございます。これから始まる絵画制作は基礎デッサンから卒業制作まで多岐にわたる内容を備えています。学習をはじめるにあたり、このコースガイドをいつも傍に置いて頂き皆様の学習サポートにお役立てください。airUマイページへのアクセスや新入生ガイダンスへの参加等を通して洋画での学びを自分のものにして頂き、本格的な絵画制作を学んでいただきたく思います。

2. 「新入生ガイダンス」に出席しよう

4、5月に京都と東京で開催する新入生ガイダンスでは、学習のすすめ方やコース専門演習科目の履修計画の立て方についてガイダンスを行います。入学後の自宅学習のリズムをつかむためにも、受講されることをお勧めします。

3. 「履修モデル」を参考に履修計画をたてよう

まず始めに、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」で卒業要件を確認しましょう。

次に何年かけて卒業するかを考えてみましょう。それにより、1年間で修得する単位数が自ずと決まってきます。本コースのテキスト科目とスクーリング科目は学習内容が関連付けられていますので、そのことを念頭におきながら、卒業までの履修計画を作成されることをお勧めします。

卒業する為には、コース専門教育科目だけではなく、学部共通専門教育科目等の履修が必要です。

本書pp.17～19の「履修モデル」は、最短の年数で卒業されると仮定した場合の年間学習モデルを紹介しています。入学年次や資格取得の有無、学びのペースによって履修内容は異なりますので、各自該当する履修モデルをもとに履修計画を立ててください。計画に狂いが生じた場合は随時計画を見直しましょう。

4. 卒業へ向けて「卒業制作着手要件」のクリアを目指そう

卒業制作に着手するためには、卒業制作に着手する前年度までに「卒業制作着手要件」（▶p.8参照）を満たしていることが必要となります。

最短での卒業を目指される場合は、少なくとも以下の条件を満たしておく必要があります。

- 1年次入学生の場合：2022年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。
- 3年次編入学生の場合：2020年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

5. 学習について質問しよう

・学習に関する質問（▶『学習ガイド2020』pp.118～122参照）

自宅学習で困ったことや迷うことがあったら、メール・FAX・郵送いずれかの方法で質問して下さい。事前予約が必要ですが、教員による対面相談も行っています。

・学習相談会について

学習相談会について、3年次以降は教員と対面相談が行われ、自由制作についての講評会や相談会が設けられています。4年次には卒業制作の中間講評会もスクーリング以外で設けられています。東京外苑キャンパスにおいての相談会も「雲母」に掲載されますのでご確認の上ご利用ください。

6. 3年次編入学生（卒業要件62単位以上・専門52単位以上）[異分野]の皆さんへ

1年次配当科目から履修を始めますが、入学初年度から、3年次配当科目までの履修が可能です。ただし科目によっては履修の前提条件がある場合がありますし、ステップアップで学んでいただくのが一番効率的であることを踏まえ、綿密に計画を立ててください。

2年間ですべてのカリキュラムを履修するには相当な学習時間と努力が必要です。また、2年目で卒業制作に着手できても、それ以前に大作のための取材ができていなければ思うような結果を残すことができません。事情が許すならば2年間という期間にとらわれず、できるだけ時間をかけて、じっくりと一つ一つのステップを習得していただくのが理想的です。

「airU (エアー・ユー)」マイページの使い方

PCを用いなくても学習は可能です。ですが、もし、Web環境の整ったPCやタブレット端末、スマートフォンをお持ちなら、さらに便利に学習をしていただけます。

7.まずは「airUマイページ」にアクセスしよう

airUマイページは学習を行うページであり、学生一人一人の学習をサポートする様々な機能を備えています。シラバス等の閲覧はもちろん、成績の確認も行えます。通信教育課程で学習を進めるにあたっての各種手続き（スクーリングの申し込みや各種証明書の申し込み、学籍更新手続き）もairUマイページから行うことができます。問題なくairUを利用するには、システムの要件を満たしている必要があります。（▶airUシステム要件の詳細は『学習ガイド2020』p.92参照）

ログインアカウントとパスワードが届いたら、まずはアクセスしてみましょう。

▶airUマイページでできることの詳細は『学習ガイド2020』pp.15～16参照。

airUマイページ <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/>

airU マイページを使ってみよう

洋画コースでは、コース専門教育科目の学習をサポートするべく動画教材や参考作品を充実させています。これらは、airUマイページ内にある airUシラバスから閲覧可能ですので、是非アクセスして活用してみてください。

airUシラバス、動画教材や参考作品の閲覧のしかた

①airU マイページにログインすると、以下のような画面が表示されます。その中にある「カリキュラム一覧（シラバス）」をクリックしてください。

カリキュラム一覧 (シラバス)

各科目の『シラバス』(科目概要や評価基準、課題の内容など)を確認することができます。

②「カリキュラム一覧(シラバス)」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から、確認したい科目をクリックして選択してください。airUシラバスが閲覧できます。

カリキュラム一覧

コース専門教育科目

区分	科目名	単位数	開講期	状況
TW	洋画演習Ⅰ-1	2	通年	継続中
TW	洋画演習Ⅰ-2	2	通年	未開講
S	洋画Ⅰ-1 半信指導ゼミナール	1	通年	単位修得済


コース専門教育科目

洋画コースのテキスト科目、スクーリング科目を確認することができます。

③カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から確認したい科目をクリックすると、以下のような画面が表示されます。ここではテキスト科目「洋画演習Ⅰ-1」をクリックしてみました。

画面の上部には、その科目の内容が左から項目ごとに学習の流れに沿って表示されていますので、すべてをよく確認しながら課題に取り組んでください。テキスト科目の動画教材や参考作品を閲覧したい場合は、その中にある「テキスト・教材学習」をクリックしてください。

※スクーリング科目の場合は、「事前課題」をクリックしてください。表示される画面の基本的な構造は同じです。



Text Work

シラバス > **テキスト・教材学習** > 作品第1課題作成 > 添削結果確認 > **テキスト・教材学習** > 作品第2課題作成 > 添削結果確認

シラバス

◎ 科目の概要 ◎ 課題の概要

科目の概要

科目名	洋画演習Ⅰ-1	科目コード	62601
担当者	由井武人、古野恵美子、水口裕務、西垣肇也樹、山河金*		
履修形態	テキスト作品科目 (TW)	単位数	2
配当年次	1年次～	開講期	通年
履修の前提条件	なし		

次へ

テキスト・教材学習

動画教材や参考作品を確認することができます。テキスト科目には作品第1課題と作品第2課題があるので、各課題ごとに確認してください。

④「テキスト・教材学習」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。画面の上部に「1」、「2」…と表示される場合には、複数ページに分けられて課題の動画教材や参考作品が収められていますので、すべてをよく確認して課題に取り組んでください。画面下にスクロールしていくと、動画教材や参考作品が一覧になって表示されます。閲覧したいものを一つずつクリックしてください。



シラバス > **テキスト・教材学習** > 作品第1課題作成 > 添削結果確認 > **テキスト・教材学習** > 作品第2課題作成 > 添削結果確認

1 2

第1課題 動画教材、作品例

説明

- 1.鉛筆デッサンの基本 Part1
- 2.鉛筆デッサンの基本 Part2
- 3.鉛筆デッサンの基本 Part3
- 4.洋画Ⅰ-1第1課題「魂を描く」鉛筆デッサン
- 5.鉛筆デッサンの基本
- 6.第1課題作品例

戻る 次へ

1. 鉛筆デッサンの基本 Part1

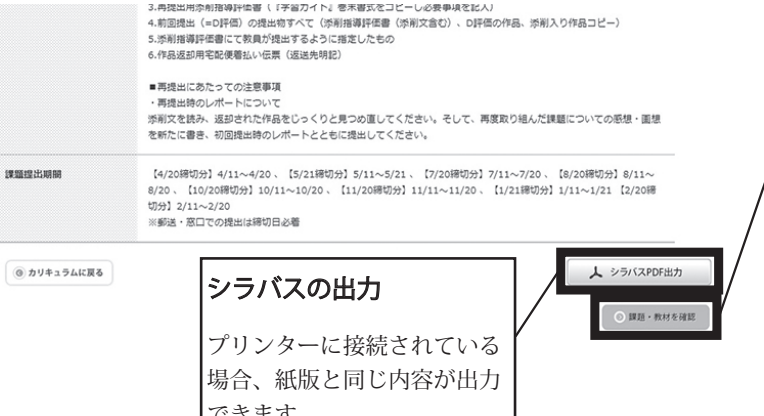
1.鉛筆デッサンの基本 利用

長時間利用で容易よう

複数ページに分けられて動画教材や参考作品が収められている場合があります。「1」から順にクリックし、選択してください。

一つずつクリックして閲覧してください。

⑤配当年次に達していない科目、および受講許可がでていないスクーリング科目の場合は公開されません。ただし、科目により一部の動画教材や参考作品は、画面右下の「課題・教材を確認」をクリックすると閲覧可能になる場合があります。



3.再提出用添削指導評定書（『学習ガイド』巻末書きをコピーし必要事項を記入）

4.前提出出（＝O評価）の提出物すべて（添削指導評定書（添削文含む）、O評価の作品、添削入り作品コピー）

5.添削指導評定書にて教員が提出するように指定したもの

6.作品返却用宅配便着払い伝票（返送先明記）

■再提出にあたっての注意事項

・再提出時のレポートについて

添削文を読み、返却された作品をじっくりと見つめ直してください。そして、再度取り組んだ課題についての感想・画題を新たに書き、初回提出時のレポートとともに提出してください。

課題提出期間

【4/20締切分】4/11～4/20、【5/21締切分】5/11～5/21、【7/20締切分】7/11～7/20、【8/20締切分】8/11～8/20、【10/20締切分】10/11～10/20、【11/20締切分】11/11～11/20、【1/21締切分】1/11～1/21 【2/20締切分】2/11～2/20

※郵送・窓口での提出は締切日必着

◎ カリキュラムに戻る

シラバスの出力

プリンターに接続されている場合、紙版と同じ内容が出力できます。

シラバスPDF出力

課題・教材を確認

課題・教材を確認

科目の資料を確認したいが画面に表示されないという場合には、このオレンジ色のアイコンをクリックしてみてください。

airUシラバスの資料教材一覧表

スクーリング科目やテキスト科目の各動画教材や参考作品等、各科目に格納されている資料教材は、下記より、一覧で確認できます。

airUマイページ>教材ボックス>その他教材

2. [在学生のみなさんへ]2020年度からの変更事項と注意点

2020年度からの洋画コースの学習における大きな変更点を以下に記載します。その他にも変更点がありますので『学習ガイド2020』p.17もあわせて確認してください。

1. 3年次スクーリング科目7単位以上の履修について

現在、洋画コースを含む特定のコースでは、コース専門教育科目3年次スクーリング選択必修科目に限り、6単位合格後に7単位以上の履修を受け付けていますが、本制度は2021年度に廃止になります。7単位以上の履修を希望される方は、2020年度中に履修するように取り組んでください。

2. 学部共通専門教育科目「造形基礎演習1」「造形基礎演習2」について

2020年度入学生より、学部共通専門教育科目「造形基礎演習1」「造形基礎演習2」が卒業要件からはずれます。ただし、2019年度以前入学生は、卒業要件に含まれていますので必ず履修するようにしてください。

3. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、『学習ガイド』もあわせて参照してください。

1. 履修形態

▶『学習ガイド』pp.11～13参照

通信教育部における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。
 本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験がある科目	対面授業
	S	スクーリング科目	対面授業のある科目	
	GS	藝術学舎科目	本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目	

2. 履修期間・課題提出期間

▶『学習ガイド』p.11、pp.32～64参照

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験 スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8
TW	テキスト作品科目	作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20	
TX	テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS	Webスクーリング科目		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20
S	スクーリング科目		夏期先行募集 16～25			秋期先行募集 17～25			冬期先行募集 17～25				2021年度 春期先行募集 3月下旬
		春期追加募集 11～(開講30～5 日前)		夏期追加募集 10～(開講30～5 日前)			秋期追加募集 10～(開講30～5 日前)			冬期追加募集 10～(開講30～5 日前)			
GS	藝術学舎科目		夏季申込 5月初旬～			秋季申込 8月初旬～			冬季申込 11月初旬～			2021年度 春季申込 2月中旬～	

・対面の単位修得試験の今年度の試験実施日と受験申込期間は『学習ガイド』pp.41～42を参照してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

3. 課題提出方法

▶『学習ガイド』pp.33～36参照

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までに大学のサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育部事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

4. 単位修得試験

▶『学習ガイド』pp.40～45参照

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）と対面（京都・東京）で受験できます。なお、レポート課題提出形態によって、受験方法が異なり、airUマイページでレポートを提出した場合はWeb受験、郵送・窓口でレポートを提出した場合はWebまたは対面どちらかで受験します。

5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル

▶『学習ガイド』pp.49～56参照

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期日内にairUマイページまたは郵送・窓口より手続きしてください。また、受講許可後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

6. 藝術学舎科目

▶『学習ガイド』p.65参照

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、藝術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。藝術学舎の単位認定に関しては『学習ガイド』pp.70～72を確認してください。

4. 専門教育科目一覧

科目一覧						卒業要件（注1）					配当年次 （注3）		
科目群	科目区分	科目コード	科目名	サブタイトル	単位数	S／T	2020年度以降入学		2019年度以前入学			3年次編入学 〔同分野〕（注2）	
							1年次入学	3年次編入学 〔異分野〕	1年次入学	3年次編入学 〔異分野〕			
							124単位以上 （S科目30単位以上）	62単位以上 （専門52単位以上）	124単位以上 （S科目30単位以上）	62単位以上 （専門52単位以上）	62単位以上 （専門32単位以上）		
門 教 育 科 目	学 部 共 通 専 門	40501	造形基礎演習1		2	TW			●	●	●	1年次～	
		40502	造形基礎演習2		2	TW			●	●	●		
		合 計						20単位以上	12単位以上	20単位以上	12単位以上	12単位以上	
専 門 教 育 科 目	コ ー ス 専 門 演 習 T 科 目	62601	洋画演習Ⅰ－1		2	TW	●	●	●	●		1年次～	
		62602	洋画演習Ⅰ－2		2	TW	●	●	●	●			
		62603	洋画演習Ⅱ－1		2	TW	●	●	●	●		2年次～	
		62604	洋画演習Ⅱ－2		2	TW	●	●	●	●			
		62605	洋画演習Ⅲ－1		2	TW	●	●	●	●	●	3年次～	
		62606	洋画演習Ⅲ－2		2	TW	●	●	●	●	●		
		62607	洋画演習Ⅳ		4	TX	●	●	●	●	●	4年次	
		合 計						16単位	16単位	16単位	16単位	8単位以上	
	コ ー ス 専 門 演 習 S 科 目	62001	洋画Ⅰ－1	牛骨鉛筆デッサン	1	S	●	●	●	●		1年次～	
		62002	洋画Ⅰ－2	石膏木炭デッサン	1	S	●	●	●	●			
		62003	洋画Ⅰ－3	静物木炭デッサン	1	S	●	●	●	●			
		62004	洋画Ⅱ－1	静物油彩1	1	S	●	●	●	●			
		62005	洋画Ⅱ－2	人体油彩1	2	S	●	●	●	●			
		62006	洋画Ⅲ－1	人体油彩2 －塑造と油彩	2	S	●	●	●	●		2年次～	
		62007	洋画Ⅲ－2	風景を描く	1	S	●	●	●	●			
		62008	洋画Ⅳ－1	静物油彩2－構成	2	S	●	●	●	●			
		62009	洋画Ⅳ－2	コンポジション	1	S	●	●	●	●			
		62010	洋画Ⅴ－1	花	2	S	●	●	●	●	●	3年次～	
		62011	洋画Ⅴ－2	人	2	S	●	●	●	●	●		
		62025	洋画Ⅴ－8	構想	2	S	いずれか1科目を選択必修（注4）						
		62026	洋画Ⅴ－9	抽象	2	S							
		62091	卒業制作		6	S	●	●	●	●	●		4年次
		合 計						24単位	24単位	24単位	24単位	12単位以上	
その他	総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目・TW科目（編入学生で必修以外の科目がある場合）、資格関連科目などから自由に選択。												
総合計						124単位以上	62単位以上	124単位以上	62単位以上	62単位以上			

TW：テキスト作品科目、TX：テキスト特別科目、S：スクーリング科目

●：必修科目

注1）2年次編入学生（卒業要件84単位以上）の必修科目は、3年次編入学生（卒業要件62単位以上、専門52単位以上）と同じです。

注2）同分野の対象者は2016年度入学生まで。卒業要件については「入学許可証・卒業要件通知」をご確認ください。

注3）配当年次：履修のための前提条件であり、その年次に到達しないと履修はできません。さらに、科目に履修の前提条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。

注4）3年次スクーリング科目6単位合格後に7単位以上の履修を希望する場合は、『学習ガイド2020』p.57をご確認の上、お申し込みください。

5. 卒業制作着手要件・卒業要件

1. 卒業制作着手要件について

卒業制作に取り組む前年度末までに「卒業制作着手要件」(下記【1】)を満たせば卒業年度前半のスクーリング「卒業制作 (1、2)」が受講でき、秋期スクーリング申込の所定の時期(次項【3】)までに「卒業制作 (3～6) の履修の前提条件」(下記【2】)を満たせば「卒業制作 (3～6)」が受講できます。受講申込時期は「卒業制作 (1、2)」が春期、「卒業制作 (3～6)」が秋期(次項【3】)です。

- ・「卒業制作 (3～6) の履修の前提条件」を卒業制作に取り組む前年度末までに満たしておくと、2021年度は卒業制作に集中して取り組めるため、できるだけ早めに前提要件を満たすことをお勧めします。
- ・卒業制作着手判定や卒業判定、2020年度卒業予定者のスケジュール等は『学習ガイド2020』pp.68～69「10. 卒業判定」を参照してください。

【1】 卒業制作着手要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	学部共通専門教育科目	12単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「洋画演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	90単位以上	3年以上在籍していること(休学期間を除く)
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上) [異分野]	学部共通専門教育科目	8単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「洋画演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	32単位以上	1年以上在籍していること(休学期間を除く)
3年次編入学 (62単位以上・ 専門32単位以上) [同分野]	学部共通専門教育科目	8単位以上	
	コース専門演習T科目	－	
	コース専門演習S科目	－	
	その他	(注1)	
	合計	28単位以上	1年以上在籍していること(休学期間を除く)

- ・2年次編入学生(卒業要件84単位以上)の卒業制作着手要件は、3年次編入学生(卒業要件62単位以上・専門52単位以上)[異分野]と同じです。ただし、合計が50単位以上あること、2年以上在学していること(休学期間を除く)が必要です。

【2】「卒業制作 (3～6)」の履修の前提条件

入学区分(卒業要件)	科目群	科目
全て	コース専門演習T科目	「洋画演習Ⅲ-1」合格済み 「洋画演習Ⅲ-2」合格済み
	コース専門演習S科目	「洋画Ⅴ-1、2、8、9」から4単位以上合格済み
		「卒業制作1、2」履修中

【3】「卒業制作（3～6）」受講申込時期と履修の前提条件の合格時期

「卒業制作（1、2）」を受講し、【2】を下記「先行募集」「追加募集」いずれかの申込期間内に満たしていれば「卒業制作（3～6）」が申込できます。

スクーリング 開催回	申込期間 (郵送は必着、 webは13:00まで)		テキスト課題の合格期日	スクーリングの合格期日	
			洋画演習Ⅲ-1、 洋画演習Ⅲ-2	洋画Ⅴ-1、2、8、9から 4単位以上	卒業制作 1、2
秋期 (10～12月開講)	先行 募集	8/17～8/25 【必着】	7月度(7/20【必着】)までに提出し、 合格すること	7月末までに合格済み	履修中
	追加 募集	9/10～9/28 【必着】	8月度(8/20【必着】)までに提出し、 合格すること	8月末までに合格済み	

- ・卒業制作スクーリングは年に2回の申し込みとなります。春期(4～6月開講)の申込時期に「卒業制作1、2」スクーリングを2つ、秋期(10～12月開講)の申込時期に「卒業制作3～6」スクーリングを4つそれぞれセットで申し込んでください。
- ・卒業制作スクーリングでは原則として定員を設けません。必ず追加募集を行います。

2.卒業要件について

2020年度卒業予定の方は卒業関連科目(「卒業制作」「洋画演習Ⅳ」)以外の科目を冬期(1月～3月)に履修することはできません。秋期(10～12月)までに卒業関連科目以外の科目の履修を完了してください。特にTR科目は12月の単位修得試験を受験するには10月度にレポート提出し合格する必要があります。また、卒業制作はTX科目「洋画演習Ⅳ」(4単位)とスクーリング科目「卒業制作」(6単位)を一括認定します。課題の一つ、あるいはスクーリングの一つでも合格できなければどちらの科目も単位修得できません。

【1】卒業要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	20単位以上	【2019年度以前入学】「造形基礎演習1・2」必修 【2020年度以降入学】必修の指定なし
	コース専門演習T科目	16単位以上	「洋画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修(注2)
	その他	(注1)	
	合計	124単位以上	S科目30単位以上
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上) [異分野]	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	【2019年度以前入学】「造形基礎演習1・2」必修 【2020年度以降入学】必修の指定なし
	コース専門演習T科目	16単位以上	「洋画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修(注2)
	その他	(注1)	
	合計	62単位以上	
3年次編入学 (62単位以上・ 専門32単位以上) [同分野]	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	【2019年度以前入学】「造形基礎演習1・2」必修 【2020年度以降入学】必修の指定なし
	コース専門演習T科目	8単位以上	「洋画演習Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「洋画Ⅴ」「卒業制作」必修(注2)
	その他	(注1)	
	合計	62単位以上	

- ・編入学生の卒業要件については、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」をご確認ください。

(注1)「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目・TW科目(編入学生で必修以外の科目がある場合)、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。

(注2)「洋画Ⅴ-8」「洋画Ⅴ-9」についてはいずれか1科目を選択。

6. カリキュラムマップ

カリキュラムの内容と関連性

洋画コースのカリキュラムは以下のような体系で構成されています。

1 年次

2 年次

<p>観察と描写 対象を観察し、絵画表現に必要な形態、明暗、空間などを学ぶ。 基礎的な描写力を育てる。</p>	<p>TW 洋画演習Ⅰ-1 (第1課題) 鉛筆デッサン「塊を描く」 (第2課題) 鉛筆デッサン「私の靴」</p> <p>S 洋画Ⅰ-1 必 牛骨鉛筆デッサン</p> <p>S 洋画Ⅰ-2 必 石膏木炭デッサン</p> <p>S 洋画Ⅱ-2 必 人体油彩1</p>	<p>S 洋画Ⅲ-2 必 風景を描く</p> <p>TW 洋画演習Ⅱ-1 (第2課題) 囲まれた空間を描く</p>
<p>色彩と構成 対象を観察し、絵画表現に必要な色彩の働きや構成などを学ぶ。 絵具など画材に慣れ親しむ。</p>	<p>TW 洋画演習Ⅰ-2 (第1課題) 人物油彩「自画像」 (第2課題) 静物油彩「野菜・果物」</p> <p>S 洋画Ⅰ-3 必 静物木炭デッサン</p> <p>S 洋画Ⅱ-1 必 静物油彩1</p>	<p>S 洋画Ⅲ-1 必 人体油彩2－塑造と油彩</p> <p>TW 洋画演習Ⅱ-2 (第2課題) 建物のある風景</p>
<p>継続と掘り下げ 繰り返し観察することで表現を掘り下げる。 観察から発見へつなげる。</p>		<p>TW 洋画演習Ⅱ-1 必 (第1課題) ドローイング「手」</p> <p>S 洋画Ⅳ-2 必 コンポジション</p>
<p>技術と応用 描き、試み、挑戦することで技術力、応用力をつける。</p>		<p>S 洋画Ⅳ-1 必 静物油彩2－構成</p>
<p>発想と展開 絵画を創造する意識を持ち、自らの画面を思考する力、展開のため発想する力をつける。</p>		<p>TW 洋画演習Ⅱ-2 必 (第1課題) 鏡面に映る自画像と室内風景</p>
<p>社会と歴史 美術史から学び、現代的な視点を併せ持った制作を続けるための研究心を育てる。</p>		
<p>表現と発表 時代と地域に向けた視点を持ち、絵画制作を続けていく力とオリジナリティーを育てる。</p>		

3年次

4年次

TW 洋画演習Ⅲ-1
必 (第1課題) 自由制作Ⅰ「発想」

TW 洋画演習Ⅲ-2
必 (第2課題) 自由制作Ⅱ「表現」

S 洋画Ⅴ-8
選 構想

S 洋画Ⅴ-1
必 花

S 洋画Ⅴ-2
必 人

S 洋画Ⅴ-9
選 抽象

TX 洋画演習Ⅳ
必 (第1課題) テーマ研究「50号自由課題」

S 卒業制作1
必

S 卒業制作2
必

S 卒業制作3
必

TX 洋画演習Ⅳ
必 (第2課題) プレゼンテーション
 「ポートフォリオ・副論」

S 卒業制作4
必

S 卒業制作5
必

S 卒業制作6
必

7. スクーリング日程・スクーリングコード一覧

スクーリング申込スケジュールは『学習ガイド2020』p.51をご確認ください

配当 年次	科目名	スクーリング コード	授業内容	単位 (注1)	会場	開講日程	申込期
1 年次 (6 単位)	洋画Ⅰ-1	6200101001	洋画Ⅰ-1 (牛骨鉛筆デッサン) a	1	京都	5/23 (土)～5/24 (日)	春期
		6200101002	洋画Ⅰ-1 (牛骨鉛筆デッサン) b	1	東京■	5/30 (土)～5/31 (日)	春期
		6200101003	洋画Ⅰ-1 (牛骨鉛筆デッサン) c	1	京都	7/4 (土)～7/5 (日)	夏期
	洋画Ⅰ-2	6200201001	洋画Ⅰ-2 (石膏木炭デッサン) a	1	京都	6/20 (土)～6/21 (日)	春期
		6200201002	洋画Ⅰ-2 (石膏木炭デッサン) b	1	東京■	6/27 (土)～6/28 (日)	春期
		6200201003	洋画Ⅰ-2 (石膏木炭デッサン) c	1	京都	7/18 (土)～7/19 (日)	夏期
	洋画Ⅰ-3	6200301001	洋画Ⅰ-3 (静物木炭デッサン) a	1	京都	6/27 (土)～6/28 (日)	春期
		6200301002	洋画Ⅰ-3 (静物木炭デッサン) b	1	東京■	7/11 (土)～7/12 (日)	夏期
		6200301003	洋画Ⅰ-3 (静物木炭デッサン) c	1	京都	10/10 (土)～10/11 (日)	秋期
	洋画Ⅱ-1	6200401001	洋画Ⅱ-1 (静物油彩1) a	1	京都	7/25 (土)～7/26 (日)	夏期
		6200401002	洋画Ⅱ-1 (静物油彩1) b	1	東京■	8/22 (土)～8/23 (日)	夏期
		6200401003	洋画Ⅱ-1 (静物油彩1) c	1	京都	10/17 (土)～10/18 (日)	秋期
	洋画Ⅱ-2	6200501001	洋画Ⅱ-2 (人体油彩1) a	2	東京■	7/18 (土)～7/19 (日) および 8/15 (土)～8/16 (日)	夏期
		6200501002	洋画Ⅱ-2 (人体油彩1) b	2	京都	8/8 (土)～8/9 (日) および 8/22 (土)～8/23 (日)	夏期
		6200501003	洋画Ⅱ-2 (人体油彩1) c	2	京都	12/5 (土)～12/6 (日) および 12/19 (土)～12/20 (日)	秋期
2 年次 (6 単位)	洋画Ⅲ-1	6200601001	洋画Ⅲ-1 (人体油彩2-塑造と油彩) a	2	京都	6/13 (土)～6/14 (日) および 7/11 (土)～7/12 (日)	春期
		6200601002	洋画Ⅲ-1 (人体油彩2-塑造と油彩) b	2	東京■	8/29 (土)～8/30 (日) および 9/12 (土)～9/13 (日)	夏期
		6200601003	洋画Ⅲ-1 (人体油彩2-塑造と油彩) c	2	京都	10/24 (土)～10/25 (日) および 11/7 (土)～11/8 (日)	秋期
	洋画Ⅲ-2	6200701001	洋画Ⅲ-2 (風景を描く) a	1	京都	5/16 (土)～5/17 (日)	春期
		6200701002	洋画Ⅲ-2 (風景を描く) b	1	兵庫■	9/12 (土)～9/13 (日)	夏期
		6200701003	洋画Ⅲ-2 (風景を描く) c	1	東京■	10/17 (土)～10/18 (日)	秋期
	洋画Ⅳ-1	6200801001	洋画Ⅳ-1 (静物油彩2-構成) a	2	京都	8/29 (土)～8/30 (日) および 9/5 (土)～9/6 (日)	夏期
		6200801002	洋画Ⅳ-1 (静物油彩2-構成) b	2	東京■	10/24 (土)～10/25 (日) および 11/7 (土)～11/8 (日)	秋期
		6200801003	洋画Ⅳ-1 (静物油彩2-構成) c	2	京都	10/31 (土)～11/1 (日) および 11/14 (土)～11/15 (日)	秋期
	洋画Ⅳ-2	6200901001	洋画Ⅳ-2 (コンポジション) a	1	京都	11/21 (土)～11/22 (日)	秋期
		6200901002	洋画Ⅳ-2 (コンポジション) b	1	東京■	12/26 (土)～12/27 (日)	秋期
		6200901003	洋画Ⅳ-2 (コンポジション) c	1	京都	2021/1/9 (土)～1/10 (日)	冬期

配当 年次	科目名	スクーリング コード	授業内容	単位 (注1)	会場	開講日程	申込期
3 年次 (6 単位)	洋画V-1	6201001001	洋画V-1 (花) a	2	京都	4/18 (土)~4/19 (日) および 5/2 (土)~5/3 (日)	春期
		6201001002	洋画V-1 (花) b	2	東京■	6/13 (土)~6/14 (日) および 7/4 (土)~7/5 (日)	春期
		6201001003	洋画V-1 (花) c	2	京都	8/22 (土)~8/23 (日) および 9/26 (土)~9/27 (日)	夏期
	洋画V-2	6201101001	洋画V-2 (人) a	2	東京■	5/16 (土)~5/17 (日) および 5/30 (土)~5/31 (日)	春期
		6201101002	洋画V-2 (人) b	2	京都	5/23 (土)~5/24 (日) および 6/6 (土)~6/7 (日)	春期
		6201101003	洋画V-2 (人) c	2	京都	10/17 (土)~10/18 (日) および 11/7 (土)~11/8 (日)	秋期
	洋画V-8 (注2)	6202501001	洋画V-8 (構想) a	2	京都	6/20 (土)~6/21 (日) および 7/18 (土)~7/19 (日)	春期
		6202501002	洋画V-8 (構想) b	2	東京■	10/10 (土)~10/11 (日) および 10/31 (土)~11/1 (日)	秋期
	洋画V-9 (注2)	6202601001	洋画V-9 (抽象) a	2	京都	7/11 (土)~7/12 (日) および 8/8 (土)~8/9 (日)	夏期
		6202601002	洋画V-9 (抽象) b	2	京都	11/14 (土)~11/15 (日) および 12/12 (土)~12/13 (日)	秋期
4 年次 (6 単位)	卒業制作 (6単位 一括認定)	6209101001	卒業制作1 (A日程)	1	京都	4/25 (土)~4/26 (日)	春期 (注3)
		6209101002	卒業制作1 (B日程)	1	東京■	5/2 (土)~5/3 (日)	
		6209102001	卒業制作2 (A日程)	1	京都	7/25 (土)~7/26 (日)	
		6209102002	卒業制作2 (B日程)	1	東京■	7/18 (土)~7/19 (日)	
		6209103001	卒業制作3 (A日程)	1	京都	10/3 (土)~10/4 (日)	秋期 (注4)
		6209103002	卒業制作3 (B日程)	1	東京■	10/3 (土)~10/4 (日)	
		6209104001	卒業制作4 (A日程)	1	京都	11/21 (土)~11/22 (日)	
		6209104002	卒業制作4 (B日程)	1	東京■	11/14 (土)~11/15 (日)	
		6209105001	卒業制作5 (A日程)	1	京都	12/19 (土)~12/20 (日)	
		6209105002	卒業制作5 (B日程)	1	東京■	12/19 (土)~12/20 (日)	
		6209106001	卒業制作6 (A日程)	1	京都	2021/1/23 (土)~1/24 (日)	
		6209106002	卒業制作6 (B日程)	1	東京■	2021/2/13 (土)~2/14 (日)	

(注1) 2単位科目で2日間×2回に分割されている科目は両方受講しなければ単位認定されません。

(注2) 「洋画V-8」「洋画V-9」についてはいずれか1科目を選択

(注3) 「卒業制作1、2」は春期(4~6月)開講分の申込期間に2科目をまとめて申し込み。

2020年度春期のスクーリング先行申込開始は3月26日(木)13:00からですが、airUからの「卒業制作1、2」の申込は3月28日(土)13:00以降となります。

(注4) 「卒業制作3~6」は秋期(10~12月)開講分の申込期間に4科目をまとめて申し込み。

■2020年度スクーリング日程表 各申込スケジュールは『学習ガイド2020』p.51をご確認ください。

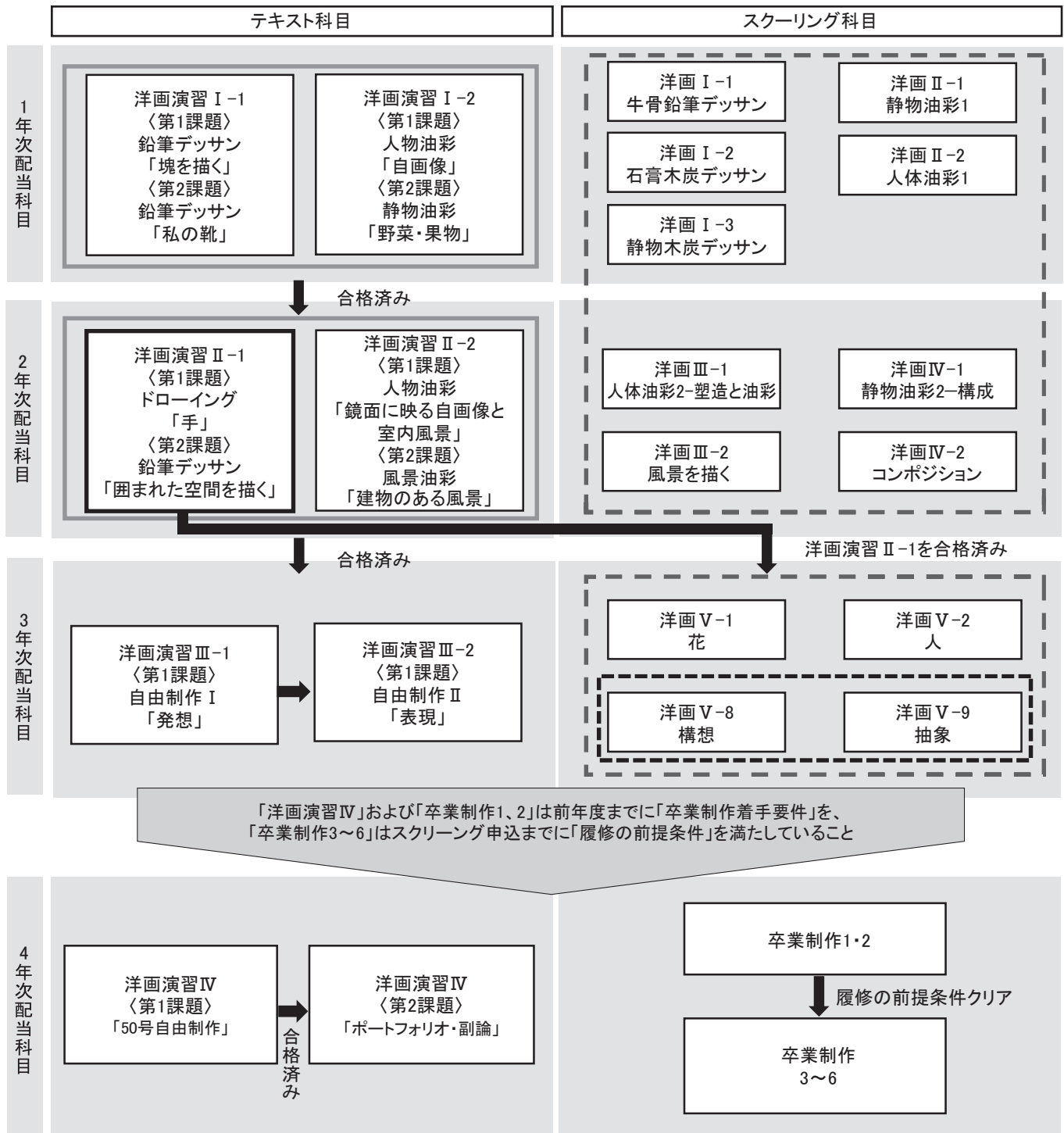
申込期	日程	1年次配当科目		2年次配当科目		
		京都	東京	京都	学外	東京
春期 (4・5・6月) 3/26～3/30	4/18(土)～4/19(日)および 5/2(土)～5/3(日)					
	4/25(土)～4/26(日)					
	5/2(土)～5/3(日)					
	5/16(土)～5/17(日)			洋画Ⅲ-2(風景を描く)a		
	5/16(土)～5/17(日)および 5/30(土)～5/31(日)					
	5/23(土)～5/24(日)	洋画Ⅰ-1(牛骨鉛筆デッサン)a				
	5/23(土)～5/24(日)および 6/6(土)～6/7(日)					
	5/30(土)～5/31(日)		洋画Ⅰ-1(牛骨鉛筆デッサン)b			
	6/13(土)～6/14(日)および 7/4(土)～7/5(日)					
	6/13(土)～6/14(日)および 7/11(土)～7/12(日)			洋画Ⅲ-1(人体油彩2-塑像と油彩)a		
	6/20(土)～6/21(日)	洋画Ⅰ-2(石膏木炭デッサン)a				
	6/20(土)～6/21(日)および 7/18(土)～7/19(日)					
	6/27(土)～6/28(日)	洋画Ⅰ-3(静物木炭デッサン)a	洋画Ⅰ-2(石膏木炭デッサン)b			
夏期 (7・8・9月) 5/16～5/25	7/4(土)～7/5(日)	洋画Ⅰ-1(牛骨鉛筆デッサン)c				
	7/11(土)～7/12(日)		洋画Ⅰ-3(静物木炭デッサン)b			
	7/11(土)～7/12(日)および 8/8(土)～8/9(日)					
	7/18(土)～7/19(日)	洋画Ⅰ-2(石膏木炭デッサン)c				
	7/18(土)～7/19(日)および 8/15(土)～8/16(日)		洋画Ⅱ-2(人体油彩1)a			
	7/25(土)～7/26(日)	洋画Ⅱ-1(静物油彩1)a				
	8/8(土)～8/9(日)および 8/22(土)～8/23(日)	洋画Ⅱ-2(人体油彩1)b				
	8/22(土)～8/23(日)		洋画Ⅱ-1(静物油彩1)b			
	8/22(土)～8/23(日)および 9/26(土)～9/27(日)					
	8/29(土)～8/30(日)および 9/5(土)～9/6(日)			洋画Ⅳ-1(静物油彩2-構成)a		
	8/29(土)～8/30(日)および 9/12(土)～9/13(日)					洋画Ⅲ-1(人体油彩2-塑像と油彩)b
	9/12(土)～9/13(日)				洋画Ⅲ-2(風景を描く)b	
秋期 (10・11・12月) 8/17～8/25	10/3(土)～10/4(日)					
	10/10(土)～10/11(日)	洋画Ⅰ-3(静物木炭デッサン)c				
	10/10(土)～10/11(日)および 10/31(土)～11/1(日)					
	10/17(土)～10/18(日)	洋画Ⅱ-1(静物油彩1)c				洋画Ⅲ-2(風景を描く)c
	10/17(土)～10/18(日)および 11/7(土)～11/8(日)					
	10/24(土)～10/25(日)および 11/7(土)～11/8(日)			洋画Ⅲ-1(人体油彩2-塑像と油彩)c		洋画Ⅳ-1(静物油彩2-構成)b
	10/31(土)～11/1(日)および 11/14(土)～11/15(日)			洋画Ⅳ-1(静物油彩2-構成)c		
	11/14(土)～11/15(日)					
	11/14(土)～11/15(日)および 12/12(土)～12/13(日)					
	11/21(土)～11/22(日)			洋画Ⅳ-2(コンポジション)a		
	12/5(土)～12/6(日)および 12/19(土)～12/20(日)	洋画Ⅱ-2(人体油彩1)c				
	12/19(土)～12/20(日)					
	12/26(土)～12/27(日)					洋画Ⅳ-2(コンポジション)b
冬期 (1・2・3月) 11/17～11/25	2021/1/9(土)～1/10(日)			洋画Ⅳ-2(コンポジション)c		
	2021/1/23(土)～1/24(日)					
	2021/2/13(土)～2/14(日)					

※1)「卒業制作1、2」は春期(4～6月)開講分の申込期間にて2科目を同時に申込み。
 ※2)「卒業制作3～6」は秋期(10～12月)開講分の申込期間にて4科目を同時に申込み。

3年次配当科目		4年次配当科目		日程
京都	東京	京都	東京	
洋画V-1(花)a				4/18(土)～4/19(日) および 5/2(土)～5/3(日)
		卒業制作1(A日程)※1		4/25(土)～4/26(日)
			卒業制作1(B日程)※1	5/2(土)～5/3(日)
		airUからの「卒業制作1、2」のスクーリング 先行申込は3月28日(土) 13:00～3月30日(月) 13:00の3日間です。		5/16(土)～5/17(日)
	洋画V-2(人)a			5/16(土)～5/17(日) および 5/30(土)～5/31(日)
				5/23(土)～5/24(日)
洋画V-2(人)b				5/23(土)～5/24(日) および 6/6(土)～6/7(日)
				5/30(土)～5/31(日)
	洋画V-1(花)b			6/13(土)～6/14(日) および 7/4(土)～7/5(日)
				6/13(土)～6/14(日) および 7/11(土)～7/12(日)
				6/20(土)～6/21(日)
洋画V-8(構想)a				6/20(土)～6/21(日) および 7/18(土)～7/19(日)
				6/27(土)～6/28(日)
				7/4(土)～7/5(日)
				7/11(土)～7/12(日)
洋画V-9(抽象)a				7/11(土)～7/12(日) および 8/8(土)～8/9(日)
			卒業制作2(B日程)※1	7/18(土)～7/19(日)
				7/18(土)～7/19(日) および 8/15(土)～8/16(日)
		卒業制作2(A日程)※1		7/25(土)～7/26(日)
				8/8(土)～8/9(日) および 8/22(土)～8/23(日)
				8/22(土)～8/23(日)
洋画V-1(花)c				8/22(土)～8/23(日) および 9/26(土)～9/27(日)
				8/29(土)～8/30(日) および 9/5(土)～9/6(日)
				8/29(土)～8/30(日) および 9/12(土)～9/13(日)
				9/12(土)～9/13(日)
		卒業制作3(A日程)※2	卒業制作3(B日程)※2	10/3(土)～10/4(日)
				10/10(土)～10/11(日)
	洋画V-8(構想)b			10/10(土)～10/11(日) および 10/31(土)～11/1(日)
				10/17(土)～10/18(日)
洋画V-2(人)c				10/17(土)～10/18(日) および 11/7(土)～11/8(日)
				10/24(土)～10/25(日) および 11/7(土)～11/8(日)
				10/31(土)～11/1(日) および 11/14(土)～11/15(日)
			卒業制作4(B日程)※2	11/14(土)～11/15(日)
洋画V-9(抽象)b				11/14(土)～11/15(日) および 12/12(土)～12/13(日)
		卒業制作4(A日程)※2		11/21(土)～11/22(日)
				12/5(土)～12/6(日) および 12/19(土)～12/20(日)
		卒業制作5(A日程)※2	卒業制作5(B日程)※2	12/19(土)～12/20(日)
				12/26(土)～12/27(日)
				2021/1/9(土)～1/10(日)
		卒業制作6(A日程)※2		2021/1/23(土)～1/24(日)
			卒業制作6(B日程)※2	2021/2/13(土)～2/14(日)

8. 履修条件図

コース専門演習テキスト科目、コース専門演習スクーリング科目について、配当年次および履修条件を記載しています。履修条件の詳細は、それぞれシラバスで確認してください。



□：どちらの科目から履修してもよく、2つの科目に同時に取り組むことができる。また、4課題同時提出も可。
※科目によって履修条件に注意事項あり（詳しくは各科目のシラバスページを参照）。

□：どちらの科目から履修してもよい。ただし、2年次配当科目は1年次配当科目を合格後（見込みも含む）に履修することが望ましい。

□：選択して履修する科目を示す。「洋画Ⅴ-8」または「洋画Ⅴ-9」のいずれかを選択。

9. 履修モデル

1年次入学生履修モデル [卒業要件124単位以上]

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

1年目																		
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)		ことばと表現	1	TR						レポート		試験						
		論述基礎	2	TR									レポート		試験			
		心理学	2	TR												レポート	試験	
		色彩と形	2	TR												レポート	試験	
		伝統芸術基礎(伝統芸能)	1	S												2日間		
		天文学・地文学・人文学への階段	1	S												2日間		
		学芸基礎講義1	1	GS					GS									
		学芸基礎講義2	1	GS							GS							
専門教育科目 (注3)	学部共通専門教育科目	工芸1	2	TR								レポート		試験				
		美術史(日本)1	2	TR					レポート		試験							
		美術史(日本)2	2	TR					レポート		試験							
		造形基礎演習1	2	TW		●			第1課題									
		造形基礎演習2	2	TW		●							第1課題					
		立体造形演習1	2	TW						第1課題								
	コース専門演習T科目	洋画演習Ⅰ-1	2	TW	●	●		第1課題			第2課題							
		洋画演習Ⅰ-2	2	TW	●	●						第1課題				第2課題		
	コース専門演習S科目(注4)	洋画Ⅰ-1	1	S	●	●		2日間										
		洋画Ⅰ-2	1	S	●	●			2日間									
		洋画Ⅰ-3	1	S	●	●			2日間									
		洋画Ⅱ-1	1	S	●	●						2日間						
		洋画Ⅱ-2	2	S	●	●								2日間×2				
1年目の修得単位数			33															

2年目																		
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)		身体	2	TR				レポート		試験								
		京都を学ぶ	2	TR				レポート		試験								
		詩学への案内	2	TR							レポート		試験					
		文化研究1	2	TR								レポート		試験				
		哲学への階段	1	S								2日間						
		入門デッサン4	1	S							2日間							
		基礎デッサン3	1	S					2日間									
専門教育科目 (注3)	学部共通専門教育科目	デザイン論1	2	TR				レポート		試験								
		デザイン論2	2	TR								レポート		試験				
		写真論1	2	TR												レポート	試験	
		美術史(ヨーロッパ)1	2	TR					レポート		試験							
		美術史(ヨーロッパ)2	2	TR					レポート		試験							
		芸術史講義(アジア)1	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴				
		芸術史講義(アジア)2	2	WS											動画視聴	レポート	講評視聴	
	コース専門演習T科目	洋画演習Ⅱ-1	2	TW	●	●		第1課題		第2課題								
		洋画演習Ⅱ-2	2	TW	●	●				第1課題			第2課題					
	コース専門演習S科目(注4)	洋画Ⅲ-1	2	S	●	●			2日間	2日間								
		洋画Ⅲ-2	1	S	●	●		2日間										
		洋画Ⅳ-1	2	S	●	●					2日間	2日間						
		洋画Ⅳ-2	1	S	●	●							2日間					
2年目の修得単位数			35															

3年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	学際的な知への案内	2	TR									レポート		試験			
	日本文化論	2	TR									レポート		試験			
	世界単位を考える	2	TR					レポート		試験							
	文学研究への階段	1	S			2日間											
	考古学への階段	1	S			2日間											
	学芸基礎講義3	1	GS						GS								
	学芸基礎講義4	1	GS												GS		
専門教育科目 (注3)	美術史（アジア）1	2	TR			レポート		試験									
	美術史（アジア）2	2	TR					レポート		試験							
	芸術理論2	2	TR												レポート	試験	
	色彩表現基礎	2	TW			第1課題											
	形態表現基礎	2	TW											第1課題			
	芸術史講義（日本）1	2	WS					動画視聴	レポート	講評視聴							
	芸術史講義（日本）2	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴				
	コース 専門演習 T科目	洋画演習Ⅲ－1	2	TW	●	●		第1課題									
		洋画演習Ⅲ－2	2	TW	●	●						第1課題					
	コース 専門演習 S科目 (注4)	洋画Ⅴ－1	2	S	●	●	2日間	2日間									
		洋画Ⅴ－2	2	S	●	●		2日間	2日間								
		洋画Ⅴ－9	2	S	○	○							2日間		2日間		
3年目の修得単位数		34															

4年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期（注5）		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	中国文化論	2	TR			レポート		試験							卒業制作着手者は卒業年度の冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。		
	東北を学ぶ	2	TR						レポート		試験						
	社会学	2	TR								レポート		試験				
	基礎デッサン4	1	S							2日間							
	伝統芸術基礎（煎茶）	1	S					2日間									
専門教育科目 (注3)	写真論2	2	TR			レポート		修得試験									
	美術史（近現代）1	2	TR						レポート		試験						
	立体造形演習2	2	TW			第1課題											
	コース 専門演習 T科目	洋画演習Ⅳ（注6）	4	TX	●	●				第1課題							
		卒業制作	6	S	●	●		2日間	2日間			2日間	2日間	2日間	2日間		
4年目の修得単位数		24															

4年間の合計・内訳	126単位 (うちS45単位)	総合教育科目	40単位	コース専門演習T科目：16単位 コース専門演習S科目：24単位
		学部共通専門教育科目	46単位	

- (注1) TR：テキストレポート科目 TW：テキスト作品科目 TX：テキスト特別科目
S：スクーリング科目 WS：ウェブスクーリング科目 GS：芸術学舎科目 本書p6参照
- (注2) ●＝必修科目〔必ず単位を修得することが求められる科目〕
○＝選択必修科目〔いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目〕
空白＝選択科目
- (注3) 選択科目については一例です。シラバスで内容を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。
- (注4) コース専門演習S科目のスクーリングは全て京都会場としています。東京会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。
- (注5) 卒業を予定されている年度には、卒業関連科目（「洋画演習Ⅳ」「卒業制作」）以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。秋期（10月～12月）までに必ず卒業関連科目以外の科目の履修を完了するよう学習を進めてください。
- (注6) 課題は指定期間に提出します。詳細はシラバス該当ページ参照のこと

3年次編入学生(異分野)履修モデル[卒業要件62単位以上・専門52単位以上]

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

1年目																			
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期			
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合教育科目 (注3)		ことばと表現	1	TR						レポート		試験							
		論述基礎	2	TR												レポート		試験	
		考古学への階段	1	S					2日間										
		伝統芸能基礎（文楽）	1	S										2日間					
		学芸基礎講義1	1	GS							GS								
		学芸基礎講義2	1	GS													GS		
専門教育科目	学部共通専門教育 (注3)	写真論1	2	TR									レポート		試験				
		写真論2	2	TR									レポート		試験				
		造形基礎演習1	2	TW		●		第1課題											
		造形基礎演習2	2	TW		●											第1課題		
		芸術史講義（ヨーロッパ）2	2	WS													動画視聴	レポート	講評視聴
	コース専門演習T科目	洋画演習Ⅰ－1	2	TW	●	●		第1課題			第2課題								
		洋画演習Ⅰ－2	2	TW	●	●					第1課題	第2課題							
		洋画演習Ⅱ－1	2	TW	●	●							第1課題	第2課題					
		洋画演習Ⅱ－2	2	TW	●	●								第1課題		第2課題			
	コース専門演習S科目 (注4)	洋画Ⅰ－1	1	S	●	●		2日間											
		洋画Ⅰ－2	1	S	●	●			2日間										
		洋画Ⅰ－3	1	S	●	●				2日間									
		洋画Ⅱ－1	1	S	●	●					2日間								
		洋画Ⅱ－2	2	S	●	●				2日間	2日間								
		洋画Ⅲ－1	2	S	●	●					2日間	2日間							
		洋画Ⅲ－2	1	S	●	●							2日間						
		洋画Ⅳ－1	2	S	●	●							2日間	2日間					
	洋画Ⅳ－2	1	S	●	●									2日間					
1年目の修得単位数			37																

2年目																					
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期（注5）					
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
総合教育科目 (注3)		詩学への案内	2	TR			レポート		試験							卒業制作着手者は卒業年度の冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。					
専門教育科目	学部共通専門教育 (注3)	美術史（ヨーロッパ）2	2	TR						レポート		試験									
		色彩表現基礎	2	TW								第1課題									
		芸術史講義（近現代）2	2	WS						動画視聴	レポート	講評視聴									
	コース専門演習T科目	洋画演習Ⅲ－1	2	TW	●	●	第1課題														
		洋画演習Ⅲ－2	2	TW	●	●		第1課題													
		洋画演習Ⅳ（注6）	4	TX	●	●				第1課題									第2課題		
	コース専門演習S科目 (注4)	洋画Ⅴ－1	2	S	●	●			2日間	2日間											
		洋画Ⅴ－2	2	S	●	●		2日間×2													
		洋画Ⅴ－8	2	S	○	○							2日間×2								
卒業制作		6	S	●	●		2日間		2日間			2日間	2日間	2日間		2日間					
2年目の修得単位数			28																		

2年間の合計・内訳	65 単位 (うち S32 単位)	総合教育科目	： 9単位	コース専門演習T科目：16単位 コース専門演習S科目：24単位
		学部共通専門教育科目	： 16単位	

(注1) TR: テキストレポート科目 TW: テキスト作品科目 TX: テキスト特別科目
S: スクーリング科目 WS: ウェブスクーリング科目 GS: 芸術学舎科目 本書p.6参照

(注2) ●=必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
○=選択必修科目 [いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目]
空白=選択科目

(注3) 選択科目については一例です。シラバスで内容を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。

(注4) コース専門演習S科目のスクーリングは全て東京会場としています。京都会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。

(注5) 卒業を予定されている年度には、卒業関連科目(「洋画演習Ⅳ」「卒業制作」)以外の科目を冬期(1月~3月)に履修することはできません。秋期(10月~12月)までに必ず卒業関連科目以外の科目の履修を完了するよう学習を進めてください。

(注6) 課題は指定期間に提出します。詳細はシラバス該当ページ参照のこと

10. 専門演習テキスト科目（TW・TX）

コース専門演習テキスト科目は自宅で作品制作を行う科目です。

自宅でairUマイページにてシラバス、または紙シラバス（有料）を確認の上、参考資料やairUで提供されるWEB教材、参考作品などを手がかりに学習し作品を完成させます。完成した作品の実物を郵便・窓口へ提出し、教員の添削指導を受けて合格すれば完了です。

履修について

1年次配当科目

・デッサンでは、画材の使い方を工夫すると同時に、失敗を怖がらずに課題の意図に沿った制作をししっかりと時間をかけて行ってください。各課題に共通することですが、見ることと描くことを何度も繰り返すことが重要です。

・テキスト科目で油彩を始める場合は、画材の使い方にあまり神経質にならずのびのびとした制作を心がけてください。初めて油彩用具を扱う方は、シラバスの「油彩画の基礎知識」を読んでおいてください。

2年次配当科目

・対象への観察を基本に造形とは何か、構成とは何かを学んでいきます。また、授業を受ける中で美術史にも興味を広げ、各時代の絵画の歴史的な位置や役割、画面構成、造形要素についても学ぶようにしてください。

・テキスト科目の中にドローイングがあります。画面を描く上で模索し、線を引く、色を置くという行為は、絵画意識や技術の向上に大変役に立ちます。課題のみにとどまらず、常に描くことを習慣づけるようにしてください。

3年次配当科目

・自由制作を通して各自のテーマを探っていきます。好き嫌いや趣味に偏らず、多くの古典や近・現代の絵画作品等にも触れながらそれぞれの表現を追求してください。1、2年次の制作の中にも引き続き追求する点は多々潜んでいます。見ること、描くことの積み重ねを通して、じっくりと自分らしさを探ってください。

4年次配当科目

・卒業制作は、一年を通し、常に担当教員との対話で進められていきます。卒業制作の下絵（エスキース）制作に始まり、各自のテーマを掘り下げるために十分な時間を設けて本画制作に入ります。スクーリング以外にも中間講評会などが行われ、教員がアシストします。

「洋画演習Ⅳ」第1・2課題はスクーリングの中で事前に相談ができます。

履修順序と前提条件

テキスト科目では、着実にステップアップするために年次ごとに履修の前提条件を設けています。1年次科目→2年次科目→3年次科目→4年次科目（卒業制作）の順に履修してください。同じ年次の科目どうしでは履修順序はなく同時履修が可能です。ただし以下のように3年次と4年次の課題で一部に制約がありますのでご注意ください。

＜テキスト科目の履修の前提条件＞

年 次	履修の前提条件	備 考
1年次 [2科目4課題]	なし	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
2年次 [2科目4課題]	1年次テキスト科目を全て合格済みであること	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
3年次 [2科目2課題]	2年次テキスト科目を全て合格済みであること	提出順序の制約なし（注1） 2科目同時提出可
4年次 [1科目2課題]	卒業制作着手要件を満たしていること	第1課題合格後、第2課題提出

（注1）課題の設定上、可能な限り「洋画演習Ⅲ-1」から履修してください。

■単年度履修

1科目に2つの課題が設定されている科目は、どちらか1課題が合格しただけでは単位履修できません。また、テキスト科目においては、同一年度内にすべての課題に合格しなければ合格した課題が無効になり、次年度以降あらためて取り組まなくてはなりません。必ず年度内に2課題とも合格し、単位履修するようにしてください。

■課題の提出について

各科目・課題ごとに「初回提出物」、「再提出物」などの重要な事項が記載されています。提出についての諸注意が守られていないと課題作品が受付されない場合がありますので、よく読み間違いのないよう提出してください。下記に、課題提出に関して共通する注意点をいくつかあげておきます。

①記入と送付

作品への「学籍番号、氏名、科目名、第○課題、○回目提出」等の記入は、下記を目安にしてください。また、木枠やキャンバスへの記入は、必ず油性のマーカーを使用してください。

画用紙：画面右下に鉛筆で記入。→画面を内側にして巻き、作品提出用角筒に入れて送付。

ドローイング：表紙右下にペンで記入。→絵画作品送付用平箱（F10号）に入れて送付。

ポートフォリオ：表紙と背表紙にペン又はワープロで記入。→作品提出用大型封筒に入れて送付。

木枠から外したキャンバス：画面右下のキャンバス耳に油性マーカーで記入。→画面を外側にして巻き、作品提出用角筒または作品提出用角筒（大）に入れて送付。

②その他

木枠からキャンバスを外す方法はシラバスの「油彩画の基礎知識」を参照。はがした作品がひび割れないよう、画面を外側にして巻くこと。

11. 専門演習スクーリング科目 (S)

コース専門演習スクーリング科目とは、事前学習と2日間（2単位の科目は2日間×2回）の対面授業で構成される科目です。科目の到達目標に応じて設定される課題に事前課題と授業をとして取り組み、それぞれに作品を完成させます。

履修の推奨順序と前提条件

1年次配当科目 2年次配当科目

1年次配当の「洋画Ⅰ-1～Ⅱ-2」と2年次配当の「洋画Ⅲ-1～Ⅳ-2」の9科目は配当年次以外に履修の前提条件はなく、年次が到達していれば自由に受講が可能です。ですが可能な限り「洋画Ⅰ-1～Ⅰ-3」を先に受講することが望ましく、カリキュラムは1年次科目→2年次科目→3年次科目の順で受講していただくことを想定しています。

3年次配当科目

・履修の前提条件があります。▶下表<スクーリング科目の履修の前提条件>参照。

4年次配当科目

・「卒業制作1、2」は前年度までに「卒業制作着手要件」を、「卒業制作3～6」はスクーリング申込までに履修の前提条件を満たしておく必要があります（本書pp.8～9参照）。

・卒業制作の単位認定は、「卒業制作1～6」合わせて6単位一括認定となります（最終的には「洋画演習Ⅳ」（4単位）と合わせて10単位一括認定となります）。

・「卒業制作6」で東京会場を選択した場合、卒業制作展のために京都へ作品を送付する必要があり、別途、梱包と送付費用がかかります。

<スクーリング科目の履修の前提条件>

年次	履修の前提条件	
1年次	なし	
2年次	なし	
3年次	スクーリング申込時期までに以下のテキスト科目を合格済みであること。 「洋画演習Ⅱ-1」	
4年次	卒業制作1、2	昨年度末までに卒業制作着手要件を満たしていること
	卒業制作3～6	スクーリング申込までにp.8の「卒業制作3～6」の履修の前提条件を満たしていること

①申し込みについて

●申込方法（先行募集）とキャンセル手続き

スクーリング科目は、3ヶ月に1度、開講の前の期に先行募集を行います。airUマイページまたは郵送で申し込んでください。

受講許可が出た後は、キャンセル時期によって10～100%のキャンセル料が発生しますので注意してください。▶詳しくは『学習ガイド2020』pp.50～56を参照。

●追加募集申込

必修科目など、受講予定の科目は必ず先行募集で申し込んでください。定員に空きが無い場合は追加募集されません。ただし、キャンセル等が出て定員に空きがでた場合に募集が再開されることもあります。追加募集の有無は、airUマイページで確認できます。

②スクーリングへ向けての準備

●スクーリング授業は自宅学習として取り組む事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。事前課題はシラバスの「課題」欄に記載されていますので、各自スクーリング授業前に必ず確認し、事前課題に取り組み、スクーリング初日、または指定されている日に持参してください。シラバス巻末の事前課題資料、またはairUマイページの各科目ページに、動画教材や参考資料がある科目もあります。尚、スクーリング授業は、事前課題が完了していることを前提で進めていきます。取り組んでいない場合や指定の持参物が準備できていない場合は、原則として単位認定の対象となりません。

●キャンパスの購入

京都瓜生山キャンパスで受講される際、25号キャンパス、25号木枠、25号キャンパス布に関しては、指定科目に限りADストア（本学購買部）に注文いただければ、受講初日に品物をお渡しすることができます。▶シラバス巻末資料「ADストア FAX注文票について」を参照。

●大型キャンパスの事前送付

15号以上のキャンパスを使用するスクーリングの際、キャンパスのみ事前にスクーリング会場に送ることが可能です。▶シラバス巻末資料「大型キャンパスの事前送付について」を参照。

③スクーリング受講成立条件と欠席・遅刻・早退の取り扱い

スクーリング科目では「事前課題の取り組み」「1単位につき2日間（全10講時）の出席（2単位科目は4日間）」「作品・成果物の完成と講評会」が認められることで受講が成立します。

欠席はもちろんですが、遅刻、早退、中抜けも、確認された段階で欠席扱いとなり単位認定対象から外れますので十分に注意してください。

当日、やむを得ず欠席の場合は速やかに連絡をしてください。▶『学習ガイド2020』p.57を参照。

④スクーリング終了後の作品送付

スクーリング終了後、大型キャンパスや画材などを大学から宅配便（着払い）にて自宅へ送ることが可能です。その際の梱包材（段ボール箱、気泡緩衝材（エアキャンプ）、新聞紙等）は各自で用意してください（布ガムテープは大学で用意）。また、京都会場のみスクーリング内でF20号・F25号平箱を販売します。その他は『学習ガイド2020』教材一覧p.77を参照。代金は後日引落しです。販売方法はスクーリング最終日に案内します。

【キャンバス・紙のサイズについて】

主なキャンバスの号数規格、紙の規格サイズは、以下の通りです。

●キャンバスの号数規格（木枠寸法）

	日本サイズ (mm)			
号数	長辺サイズ	F (人物)	P (風景)	M (海景)
0	180	140	120	100
1	220	160	140	120
SM	227	158		
2	240	190	160	140
3	273	220	190	160
4	333	242	220	190
5	350	270	240	220
6	410	318	273	242
8	455	380	333	273
10	530	455	410	333
12	606	500	455	410
15	652	530	500	455
20	727	606	530	500

	日本サイズ (mm)			
号数	長辺サイズ	F (人物)	P (風景)	M (海景)
25	803	652	606	530
30	910	727	652	606
40	1000	803	727	652
50	1167	910	803	727
60	1303	970	894	803
80	1455	1120	970	894
100	1620	1303	1120	970
120	1940	1303	1120	970
130	1940	1620		
150	2273	1818	1620	1455
200	2590	1940	1818	1620
300	2910	2182	1970	1818
500	3333	2485	2182	1970

※F・P・M型とも、各号の長辺サイズは共通。F・P・Mの数値は、各型の短辺サイズ。

※S（スクエア）型は、表記の長辺サイズの正方形キャンバスです。

●画用紙、ケント紙

四ツ切りは382×542mm、八ツ切りは271×382mmが基準サイズです。



2710000021421